

～ 学 校 便 り ～

初志貫徹

しよ し かん てつ

2
月
号

<本校の在籍>

1年 (101名) 4年 (107名)
2年 (96名) 5年 (101名)
3年 (107名) 6年 (92名)
全児童数 (604名) 学級数 (23)



うるま市立 赤道小学校

住 所
電 話
発行者
発行日

〒904-2245 うるま市字赤道 921 番地
(098) 973-1218 FAX (098) 974-7124
校長 幸喜 徹 (こうき とおる)
平成 30 年 2 月 15 日 (木)

三寒四温を繰り返しながらも、日毎に寒さが和らぐ兆しが見える今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、学校の方では持久走大会で子ども達の体力の保持増進に努める一方、学習面では1年間のふりかえり・まとめが行われています。そして、その一年間の学習状況の到達度を掌握し今後の学習に生かすことを目的に「沖縄県学習到達度調査」が2月21日(水)に実施されます。

そうした中、先日2月10日(土)に「中頭地区学力向上実践推進大会」が嘉手納町で開催され、幼小中、そして地域の実践発表が行われました。その中でも特に、平敷屋小学校(高良孝 校長)の下記取り組みは参考となり、同校の発表を今後、赤道小学校でも参考にすることができればと考えます。

①幼小中の連携 ②あいさつの徹底 ③学習規律の統一・徹底 ④朝ドリル・授業の改善 ⑤キャリア教育の充実



校庭の桜

<2月・3月の主な行事予定>

2 月			3 月		
1	木	入学説明会 (14:00)	2	金	授業参観日
3	土	市生涯学習フェスティバル ※～2/4 (日)	4	日	5年 PTA 行事 (9:30)
6	火	児童会・委員会引継式	7	水	読み聞かせ (全学級)
9	金	具志川中入学説明会	8	木	6年お別れ給食会
10	土	中頭学力向上推進大会	9	金	4年 PTA 行事
11	日	建国記念日	10	土	具志川中 卒業式
12	月	振替休日	22	木	第38回 卒業式
14	水	授業参観日・学校説明会	23	金	修了式・離任式
21	水	沖縄県学力到達度調査	4 月		
23	金	6年 PTA 行事 (18:00)	9	月	就任式・1学期始業式
25	日	PTA 作業 (8:30 予定)	10	火	平成30年度入学式
28	水	6年生に送る会	18	水	全国学力学習状況調査

児童会役員選挙、引継式が行われました!

2月6日(火)に「平成30年度児童会役員選挙」が行われました。その結果、次の6名の皆さんが当選しました。今回立候補した13名の皆さん並びに推薦人の皆さん、本当にご苦労様でした。

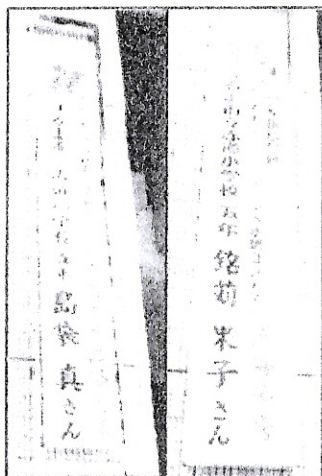
新児童会役員名	こんな学校にしたい
安里 大希 (あさとだいき)	あいさつ日本一
翁長 桃花 (おながももか)	団結・協力を大切にする
幸喜 大芽 (こうきたいが)	あいさつ日本一
鉄本 優信 (てつもとまさのぶ)	あいさつと笑顔いっぱい
當銘 ひるい (とうめひるい)	あいさつ運動を大切にする
銘苅 果子 (めかるかこ)	学校教育目標を大切にする

※敬称略・五十音順

新児童会役員が決定したことを受け、「児童会役員引継式」「委員会引継式」が2月8日(木)に行われました。旧児童会役員である6年生からは次のようなメッセージが送られました。6年生の皆さんお疲れ様でした、そしてありがとうございました。

旧児童会役員名	メッセージ
宜名 眞 伶紋 (ぎなまれあ)	行事を大切にしたい
當間 杏耶 (とうまきょうや)	あいさつを徹底して欲しい
仲宗根 健 (なかそねけん)	何事も沖縄一を目指して欲しい
中山 峻 (なかやましゅん)	黙々清掃を頑張りたい
山城 紗輝 (やましろさき)	楽しい行事を行って欲しい
山城 未奈 (やましろみな)	行事を増やして欲しい

島袋真さん、銘苅果子さん、おめでとう!



本校5年生の島袋真さん(第61回西日本読書感想画コンクール指定図書部の最優秀賞)、銘苅果子さん(第3回全国小学校『私達の暮らしと水』かべ新聞コンテスト最優秀賞)の快挙を称え、うるま市教育委員会(柴門忠光 教育長)の計らいで市役所東棟外壁に懸垂幕が掲げられました。真さん、果子さん、そして御家族の皆様、誠におめでとうございます。これからも頑張ってください。

伊志嶺 智 教諭、市実践グランプリ、優良賞受賞!

平成29年度うるま市教育実践グランプリにおいて、本校の伊志嶺智教諭(特別支援学級担任)の教育論文が見事優良賞に輝きました。伊志嶺教諭の更なる活躍を期待したいと思います。伊志嶺教諭、誠におめでとうございます。



表彰される伊志嶺 教諭

<うるま市教育実践グランプリの目的>

うるま市立幼稚園・小中学校教諭等の中で素晴らしい成果をあげている教職員を表彰することで、さらなる意欲の向上を図る。又、その実践を共有することにより、教職員の資質向上を図り、幼児児童生徒に確かな学力などの生きる力を育む教育活動の推進に資する。